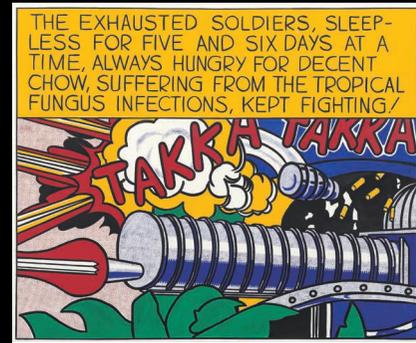


MUSEUM COLONGNE

HISTORY OF A COLLECTION
WITH CIVIC COMMITMENTS



コレクターたち。
未来を買った。



ドイツ ケルン ルートヴィヒ美術館展

20世紀美術の軌跡 市民が創った珠玉のコレクション

2022.10.14 Fri. > 2023.1.22 Sun. 京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

[開館時間] 10:00-18:00 ※毎週金曜日は20:00まで ※入館は閉館の30分前まで ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館時間は変更となる場合があります。来館前に最新情報をご確認ください。

[休館日] 月曜日(ただし、12月26日と1月9日は開館)、12月29日~1月3日

[主催] 京都国立近代美術館、ルートヴィヒ美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪、BS-TBS、京都新聞 [後援] ドイツ連邦共和国総領事館

[協賛] 岩谷産業、損保ジャパン、ダイキン工業、竹中工務店、三井不動産



Museum Ludwig, Köln / Cologne © A.R.

Museum Ludwig, Cologne | ルートヴィヒ美術館

ルートヴィヒ美術館が位置するケルンは、ドイツ第4の都市であると同時に、ローマ時代からライン河沿いの交通の要衝として発展してきた古都であり、世界最大のゴシック建築であるケルン大聖堂、ヨーロッパ最古の大学のひとつであるケルン大学ほか、数多くの美術館・博物館を有する文化の薫り高き街です。また京都国立近代美術館が開館した1963年から、京都市と姉妹都市提携を結んでいることでも知られています。

1986年、ケルン大聖堂に隣接したライン河畔に美術館が開館しました。しかしその構想は、美術コレクターとして名高いペーター・&・イレネ・ルートヴィヒ夫妻が、作品約350点をケルン市に寄贈した1976年に遡ります。さらに、ケルン市立ヴァルラフ＝リヒャルト美術館から、ヨーゼフ・ハウプリヒが1946年に寄贈したドイツ近代美術のコレクションを含む1900年以降の作品が移管されたことで、ルートヴィヒ美術館の基盤が整えられました。

今日、ルートヴィヒ美術館は、ヨーロッパで最大級のポップ・アートのコレクション、表現主義や新即物主義などのドイツ近代美術とその同時代のロシア・アヴァンギャルド、世界で3本の指に入るピカソのコレクションや、写真史を網羅する質量ともに優れた写真コレクション、そして世界各地の現代美術の収集により、国際的にも高く評価されています。

クロストーク

展覧会が社会を開く

—コレクターたちが見た時代の記録と提言—

講師：長屋光枝(国立新美術館学芸課長)

池田祐子(当館副館長・学芸課長) ※ともに本展担当者

日時：11月20日(日) 14:00—16:00

会場：京都国立近代美術館1階講堂

※事前申込制、先着80名(予定)、聴講無料

お申込に関する詳細・最新情報やその他のイベントについては、当館および本展特設サイトにてご案内します。

オフィシャルサポーター

ケルンにルーツを持つトラウデン直美さんが、音声ガイドで作品のみどころなどを紹介します。

トラウデン直美(モデル)

京都府出身。ドイツ人の父と日本人の母を持つ。慶應義塾大学卒業。現在モデルのほか、報道・情報番組でも活躍中。

【貸出料金】1台 600円(税込)



観覧料(税込)

一般2,000円(1,800円)、大学生1,100円(900円)、高校生600円(400円)

※()内は前売および20名以上の団体(団体鑑賞の場合は事前に美術館にお問い合わせください)

※中学生以下、母子家庭・父子家庭の世帯員の方、心身に障がいのある方とその付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示下さい)

※本料金でコレクション展もご覧いただけます

※前売券は8月22日(月)～10月13日(木)までの限定販売

チケットの主な販売場所＝オンラインチケット(公式サイト)、チケットぴあ[Pコード686-187]、ローソンチケット[Lコード:52562]、セブンチケット[セブンコード:096-665]、イープラスほか主要プレイガイド、コンビニエンスストアなど[チケット購入時に手数料がかかる場合があります]

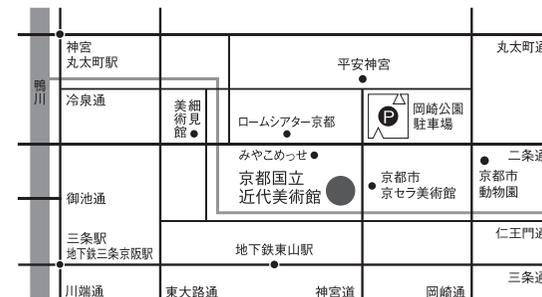
交通案内

●京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分、「東山二条 岡崎公園口」下車徒歩約10分

●地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分

※当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車場をご利用ください

※岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越し下さい



京都国立近代美術館

岡崎公園内 606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
tel. 075-761-4111
<https://www.momak.go.jp/>

展覧会公式サイト <https://ludwig.exhn.jp>

展覧会公式ツイッター @LudwigExhn



【表面図版】 左:アンディ・ウォーホル《ペーター・ルートヴィヒの肖像》1980年 アクリル絵具/カンヴァス 105.0×105.0 cm Museum Ludwig, Köln / Cologne, ML 10076. (Photo: © Rheinisches Bildarchiv Köln, rba_c002430) © 2022 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo C3933 右上:パブロ・ピカソ《アーティチョークを持つ女》1941年 油彩/カンヴァス 195.0×130.0 cm Museum Ludwig, Köln / Cologne, ML 01291. (Photo: © Rheinisches Bildarchiv Köln, rba_c004725) © 2022 - Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN) 右下:ロイ・リキテンスタイン《タッカ、タッカ》1962年 アクリル絵具/カンヴァス 143.0×173.0 cm Museum Ludwig, Köln / Cologne, ML 01074. (Photo: © Rheinisches Bildarchiv Köln, Sabrina Walz, rba_d053188_01) © Estate of Roy Lichtenstein, New York & JASPAR, Tokyo, 2022 C3933
The exhibition was produced in close collaboration with Museum Ludwig, Cologne.

本展は、ドイツのルートヴィヒ美術館が所蔵する、20世紀初頭から現代までの優れた美術作品を紹介する展覧会です。ケルン市が運営するこの美術館のコレクションは、市民のコレクターたちによる寄贈を軸に形成されてきました。二度の世界大戦、東西ドイツへの分裂から統一にいたる激動の20世紀を生きた寄贈者たちは、同じ困難な現実を翻弄され、立ち向かい、社会の新しい息吹に鼓舞された、同時代の美術家たちに目を向けました。本展では、館名に名前を冠するルートヴィヒ夫妻をはじめとするコレクターたちに焦点をあて、ドイツ表現主義や新即物主義、ピカソ、ロシア・アヴァンギャルド、ポップ・アートなど、絵画、彫刻、写真、映像を含む代表作152点*を紹介し、美術館と市民との生きた交流の証しとしてのこの展覧会が、私たちの社会における美術館の意義と役割を見つめなおす契機になれば幸いです。(*一部東京会場のみでの展示作品があります)

みどころ Highlights

1 未来を買ったコレクターたち

ルートヴィヒ美術館のコレクション形成に寄与したのは市民コレクターたちでした。文化・芸術を愛し守り、次世代に継承しようとしたコレクターたちの未来への想いは、ルートヴィヒ美術館のコレクションや芸術活動の礎にもなっています。美術と社会のゆるぎない結びつきは、日本に生きる現在の私たちにとって示唆にあふれています。

2 美術史をたどる、100年の多様な表現

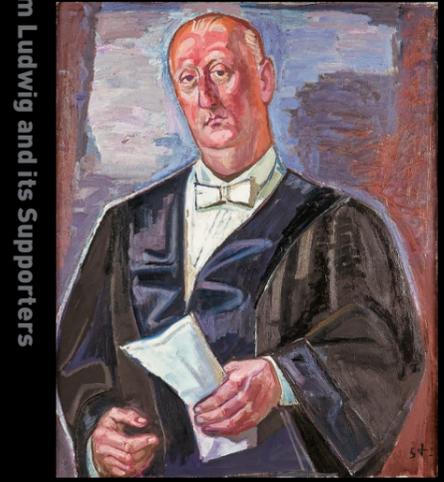
ドイツ表現主義、新即物主義、キュビズム、ロシア・アヴァンギャルド、バウハウス、シュルレアリスム、ピカソやポップ・アート、前衛芸術から抽象美術、そして2000年代以降の美術まで、20世紀初頭から今日までの多様な表現をご紹介します。また、それぞれのセクションに挿入された写真コレクションは、時代の精神を生き生きと伝えています。女性作家たちのきらりと輝く表現にも注目ください。

3 時代が息づく珠玉の152点*

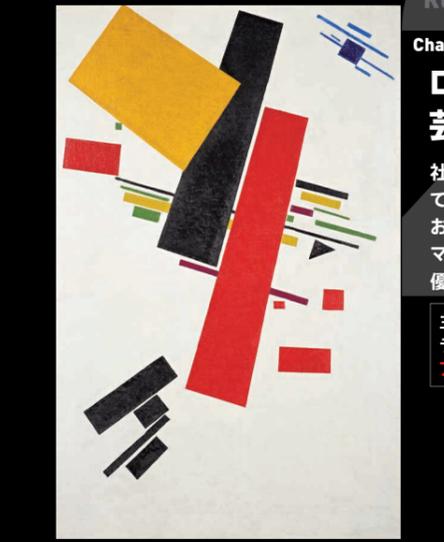
20世紀前半のふたつの世界大戦と戦後の復興、東西の統一を経て、現在ではヨーロッパを牽引する国のひとつとなったドイツ。美術を通じて歴史が分かり、歴史のなかに美術が見えてくる展覧会です。人間と社会、そして歴史に迫る珠玉の152点*をお楽しみください。

Introduction

序章 ルートヴィヒ美術館とその支援者たち



オットー・ティクス (ヨーゼフ・ハウプハイ博士の肖像) 1951年 油彩/カンヴァス 100.0 x 81.5 cm



カジミール・マレーヴィチ (スプレムス 38番) 1916年 油彩/カンヴァス 102.5 x 67.0 cm

German Modernism – Looking for the New Artistic Expression

Chapter 1 ドイツ・モダニズム — 新たな芸術表現を求めて

芸術家グループ「ブリュッケ(橋)」や「青騎士」を中心とした表現主義そして新即物主義など、20世紀前半のドイツの前衛的な芸術の動向を、絵画・彫刻・写真で紹介しします。



ワシリー・カンディンスキー (白いストローク) 1920年 油彩/カンヴァス 98.0 x 80.0 cm

Russian Avant-garde – Revolutionary Innovation in the Arts

Chapter 2 ロシア・アヴァンギャルド — 芸術における革命的革新

社会主義革命を機に、社会の大変革と連動して、ロシア・アヴァンギャルドと呼ばれる芸術における新たなうねりが生まれたロシア。スプレマティズムの代表的作品や構成主義的作品の優品を紹介します。

主な作家 | カジミール・マレーヴィチ/ミハイール・ラリオーノフ/ナターリヤ・ゴンチャローワ/アレクサンドル・ロトチェンコ/ゲオルギ・ゼルマ



アレクサンドル・ロトチェンコ (ライカを持つ少女) 1934年(プリント:1934年以降) ゼラチン・シルバー・プリント 40.0 x 29.0 cm

Chapter 3 ピカソとその周辺 — 色と形の解放

ルートヴィヒ夫妻は、自分たちの時代を全人的に表現する芸術家としてピカソの作品を熱心に収集しました。本章では、夫妻やほかのコレクターに由来するピカソと同時代にパリで活動した作家たちの作品を紹介します。

主な作家 | マルク・シャガール/アメデオ・モディリアーニ/アンリ・マティス/パブロ・ピカソ/マン・レイ



パブロ・ピカソ (眠る女) 1960年 油彩/カンヴァス 54.0 x 65.0 cm

From Surreal Creation to Abstraction – Postwar Movements in Europe and America

Chapter 4 シュルレアリスムから抽象へ — 大戦後のヨーロッパとアメリカ

第二次世界大戦後にヨーロッパで隆盛したアンフォルメルと、アメリカで花開いた抽象表現主義。それらに大きな影響を与えたシュルレアリスム。戦後の人間の生の回復を志向するさまざまな作品を、「主観的写真」の動向も含めて紹介します。

主な作家 | マックス・エルンスト/ヴォルス/エルンスト・ヴィルヘルム・ナイ/ジャクソン・ポロック/ウィレム・デ・クーニング/オットー・シュタイナート



マックス・エルンスト (喜劇の誕生) 1947年 油彩/カンヴァス 53.0 x 40.0 cm

Chapter 5 ポップ・アートと 日常のリアリティ

1950年代にイギリスではじまり、1960年代のアメリカを席卷したポップ・アートは、大量消費社会やそれに基づく大衆文化を批評し、巷に広がるイメージを利用することで芸術のオリジナリティを問ひかけました。それらポップ・アートの優品を紹介します。

主な作家 | リチャード・ハミルトン/ジャスパー・ジョーンズ/ロイ・リキテンスタイン/アンディ・ウォーホル/ギャリー・ウィノグラッド



ジャスパー・ジョーンズ (0-9) 1959年 エンコーステック、新聞紙/カンヴァス 54.0 x 89.0 cm

Pop Art and Everyday Reality

Chapter 6 前衛芸術の諸相 — 1960年代を中心に

具体的で具象的なイメージの再現ではなく、観者の網膜上の知覚作用に注目したオブ・アートや、イリュージョンを極限まで排したミニマリズムなど、還元的でシンプルな形態に向かいつつも、固有の展開を遂げた芸術の諸相を紹介します。

主な作家 | ジョゼフ・アルパース/モーリス・ルイス/ケネス・ノーランド/ハインツ・マック/プリンキー・ハレルモ



モーリス・ルイス (夜明けの柱) 1961年 アクリル絵具/カンヴァス 220.0 x 122.0 cm

Chapter 7 拡張する美術 — 1970年代から今日まで

本章では旧東西ドイツをめぐる社会問題に関連する作品や、現代美術の購入と振興をめぐるルートヴィヒ美術館の活動なども参照しつつ、映像やパフォーマンスなど多様に展開した現代美術の諸相を紹介します。

主な作家 | ヨーゼフ・ボイス/ゲオルク・バゼリッツ/ヴォルフガング・マットホイアー/マルティン・キッペンベルガー/カーチャ・ノヴィツコヴァ



マルティン・キッペンベルガー (無題、シリーズ「戦争悪」より) 1991年 油彩、グラフィット鉛筆/カンヴァス 250.0 x 300.0 cm

Expanding the Frame of Art from the 1970s to Today

Chapter 8 カジミール・マレーヴィチの傑作が「挙来日！」

2014年 デジタル・プリント/アルミニウム 180.0 x 135.0 x 35.0 cm



カーチャ・ノヴィツコヴァ (近似(ハシビロコウ)) 2014年 デジタル・プリント/アルミニウム 180.0 x 135.0 x 35.0 cm